

山開きシーズン到来

山々に新緑が広がり、本格的な登山シーズンが始まりました。市内では、5月17日に片曾根山と大滝根山で、24日には高柴山で山開きが行われました。この日を待ちわびた大勢の家族連れや登山愛好家などが、山道を登り、雄大な景色や新鮮な空気を満喫していました。

新緑や季節の花を愛でながら、心地よい汗を流してみませんか。



▲大滝根山山頂で花を眺める登山愛好家の方々 (5/17)



▲片曾根山では鬼五郎幡五郎太鼓の音が青空に響きわたりました (5/17)

阿武隈高原中央の山々を制覇!! 中部

あぶくま高原

ABUCUMA KOGEN

<登山ガイドマップ>
★周辺の見どころ紹介★

市内の山を掲載した登山ガイドマップを無料で配布しています。本庁の窓口や各行政局、各出張所に置いてありますので、ご利用ください。

福島県 田村市・小野町

地域の安全安心を守る

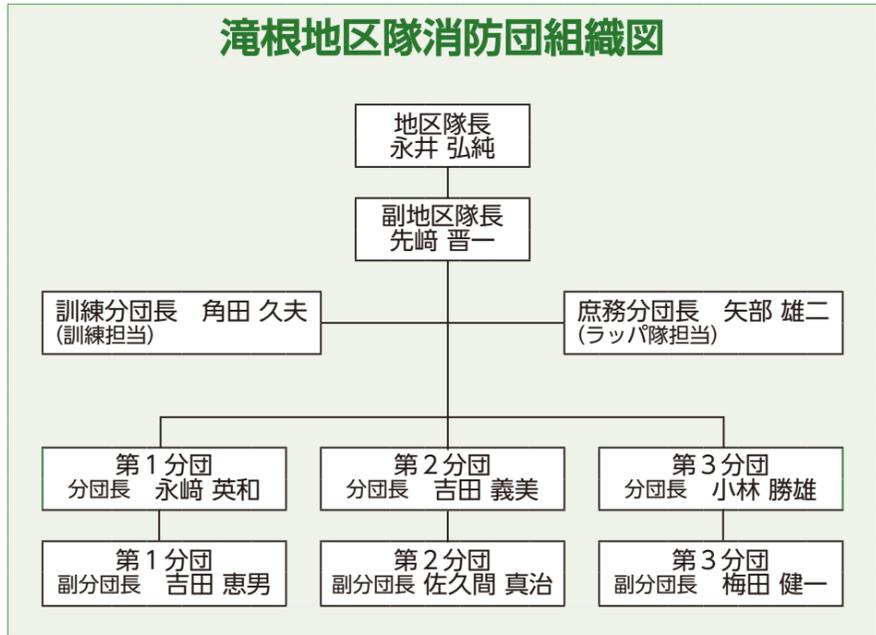
田村市消防団

No.8

消防団だより

消防団の組織や活動内容などを紹介する「消防団だより」の第8回目は、滝根地区隊をお知らせします。

滝根地区隊は、地区隊長を筆頭に副地区隊長、訓練分団長、庶務分団長、菅谷・神保・広瀬地区を統括する分団長3人の計7人の幹部と、副分団長3人、部長6人、班長12人、団員162人の合計190人で、ポンプ車1台、積載車10台を所有しています。日ごろの活動は、地元から火災を出さないよう団員一丸となってポンプ試運転や中継訓練、機械器具点検を行うなど緊急の火災出動に備えるとともに、査察や車両による無火災広報などで予防消防に取り組んでいます。



写真の前後列右から
吉田義美、小林勝雄、梅田健一、
吉田恵男、永崎英和、佐久間真治、
写真の前列右から
角田久夫、永井弘純、先崎晋一、
矢部雄二

頼りになる 消防団を目指して



田村市消防団
滝根地区隊
隊長 永井弘純

私たちの住む滝根町は、住民の皆さまの防災意識がとても高い地域です。昨年7月にその他の火災が発生して以来、無火災が続いていました。残念ながら4月に建物火災が発生し、無火災記録は途絶えてしまいましたが、引き続き予防消防に努めていきます。

滝根地区隊は、地区隊本部と3つの分団で構成されています。今年度は地区隊本部・各分団の幹部が変わりましたが、防災意識を今まで以上に強く持ち、地域住民の皆さまに頼りにされる消防団を目指します。

これから気温が上がり、林野火災などの発生が心配されます。山で喫煙したりごみを燃やしたりしないよう、ご協力をお願いいたします。

火災に注意しましょう!

住宅用火災警報器の交換時期に注意

●住宅用火災警報器は、10年を目安に交換が必要です。点検や電池交換の際に、本体の交換時期を確認し、計画的に交換することを勧めます。交換時期は、警報器の種類によって異なりますのでご注意ください。

●ガス警報器には「住宅用・ガス・CO警報器」があり、交換時期は5年です。

●住宅用火災警報器には、交換時期の目安となるよう、設置年月日を記入したシールが貼られているものや、音で交換時期を知らせるものがありますので、詳しくは警報器の取扱説明書で確認してください。

木造住宅 耐震化のススメ

東日本大震災により、福島県内では20万棟を超える建築物が被災し、木造住宅も多数の被害を受けました。現在の耐震基準(昭和56年6月から施行)以前に建設された住宅は、地震に弱いものが多いといわれており、必要に応じて耐震性を高める補強をすることが望まれます。

市では、耐震診断および耐震改修に対する補助事業を実施します。耐震診断および耐震改修を実施して、住まいの安心と安全を確保しましょう。

- ①木造住宅耐震診断者派遣事業
 - 建築士が現地を調査し、地震に対する住宅の強さを診断します。
 - 対象となる建物
昭和56年5月31日以前に建設された戸建て木造住宅
 - 費用負担 耐震診断消費税相当分、一律8,000円
 - 申込期限 8月31日(月)
 - ②木造住宅耐震改修支援事業
 - 地震に耐えられるよう必要な補強工事を行う方に補助金を交付します。
 - 対象となる建物
耐震診断を実施した結果、耐震基準を満たさない戸建て木造住宅
 - 補助金の額 耐震改修に要する費用の2分の1かつ100万円以内の額
 - 申込期限 8月31日(月)
- 問・申 建設部 都市計画課 ☎82-1114